**【　在庫データのData Loaderによるインポート手順　】**

1. Data Loaderインポート用のCSVファイルを作成する。

1-1. インポート用テンプレートファイル（エンジニアリング品目\_Template.csv）を別名コピーする。

1-2. 別名コピーしたインポート用ファイルの 項目にデータを設定する(テーブル１)

|  |  |
| --- | --- |
| RSTK\_\_PEITEM\_DIV\_\_C | ディビジョンマスタの内部コード |
| RSTK\_\_COMPANY\_\_C | 会社マスタの内部コード |
| RSTK\_\_PEITEM\_ICCOMCOD\_\_C | 在庫コモディティコードの内部コード |
| RSTK\_\_PEITEM\_ITEM\_\_C | 在庫のコード |
| RSTK\_\_PEITEM\_DESCR\_\_C | 在庫の説明 |
| RSTK\_\_PEITEM\_STATUS\_PL\_\_C | 「Active」で設定する |
| RSTK\_\_PEITEM\_TYPE\_PL\_\_C | 「Standard」で設定する |
| RSTK\_\_PEITEM\_TRACKLOT\_PL\_\_C | 「Yes」で設定する |
| RSTK\_\_PEITEM\_TRACKSRL\_PL\_\_C | 「No」で設定する |

ディビジョンマスタの内部コード、会社マスタの内部コード、在庫コモディティコードの内部コードを取得する方法は以下通りです。

※今度SPACECOOLのデータ基づいて在庫コモディティコードを三つがあります。各在庫コモディティコードに対応して、エンジニアリングアイテムのサンプルを一件手入力で作成します。その後、Data Loaderのエクスポート機能を使用して各在庫コモディティコードに対応するIDを取得します。

※Data Loaderを起動し、下記のStepに従って操作を行なう。

Exportボタンを押し

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション, チャットまたはテキスト メッセージ

自動的に生成された説明

Step 1: Log In

1. 環境は、”Production”を選択して [Log in] ボタンを押す。
2. ユーザ名とパスワードを入力する。
3. ”Allow Access？” が表示された場合は、 [Allow] ボタンを押す。
4. ログインに成功したら、　[Next] ボタンを押す。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

自動的に生成された説明

Step 2: Select data objects

1. Salesforce Objectは、”Engineering Item Master”又は（rstk\_\_peitem\_\_c） を選択する。
2. 保管したいフォルダを [Browse…] ボタンを押し指定して [Next] ボタンを押す。
3. ポップアップ画面にExport対象レコード項目が表示される。エクスポートしたい項目を選択する。（テーブル①の項目を選択してください）
4. 確認し [Finish] ボタンを押す。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

自動的に生成された説明

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

自動的に生成された説明

※エクスポートしたファイルを開いてディビジョンマスタの内部コード、会社マスタの内部コード、在庫コモディティコードの内部コードをコーピーしてInsertするCSVファイルに貼り付けます。

1. Data Loaderを起動し、作成したインポートファイルをInsertする。

2-1. Data Loaderを起動し、下記のStepに従って操作を行なう。

Step 1: Log In

1. 環境は、”Production”を選択して [Log in] ボタンを押す。
2. ユーザ名とパスワードを入力する。
3. ”Allow Access？” が表示された場合は、 [Allow] ボタンを押す。
4. ログインに成功したら、　[Next] ボタンを押す。

Step 2: Select data objects

1. Salesforce Objectは、” Engineering Item Master”又は（rstk\_\_peitem\_\_c） を選択する。
2. InsertするCSVファイルを [Browse…] ボタンを押し指定して [Next] ボタンを押す。
3. ポップアップ画面にInsert対象レコード件数が表示される。確認し [OK] ボタンを押す。

Step 3: Mapping

1. [Create or Edit a Map] ボタンを押す。
2. [Auto-Match Fields to Columns] ボタンを押し、項目マッピングを自動で行なう。
3. 項目マッピングが行われ、画面の下段にマッピング結果が表示される。
4. [Save Mapping] ボタンを押し、マッピング定義データを保存しておく。
5. [OK] ボタンを押す。
6. [Next] ボタンを押す。

グラフィカル ユーザー インターフェイス が含まれている画像

自動的に生成された説明

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

自動的に生成された説明

Step 4: Finish

1. 実行ログなどの出力先の指定画面が表示される。出力場所を変えたい場合は変更する。
2. [Finish] ボタンを押す。
3. 処理の実行確認のポップアップ画面が表示されるので、 [Yes] ボタンを押す。
4. 処理件数と処理時間、成功件数とエラー件数のポップアップ画面が表示される。
5. 成功結果とエラー結果を画面で確認できる。
6. エラー結果を表示して、エラー内容を確認する。

**【 Data Loaderのインストール方法 】　　※ ブラウザーはGoogleかIE**

<https://help.salesforce.com/articleView?id=000317204&type=1&mode=1>